

## 編集後記

編集長代理 東野 定律

9月24日に安倍晋三首相は自民党本部で記者会見し、新たな「3本の矢」の政策で総ての人が活躍できる「1億総活躍社会」を目指すことを表明した。

アベノミクス第2ステージに入ったことを強調し、具体的な経済目標として国内総生産（GDP）を600兆円に増やし、雇用や所得環境の改善をさらに進め、確実にデフレ脱却を実現する意向を示したのである。

また、新たに掲げた新3本の矢の内容は、1）希望を生み出す強い経済、2）夢を紡ぐ子育て支援、3）安心につながる社会保障という内容で、特に社会保障の内容を見てみると、「介護離職ゼロ」のほか、出産を望む女性のみを対象に算出する希望出生率を1.8まで引き上げる目標などを打ち出した。

また、「生涯現役社会」の構築を目指し、高齢者の活躍推進を強化する考えも示した。本稿で取り上げられた「居場所づくり」や「キャリア段位」「地域産業の発展」「人材教育」といった内容についても、こうした政策の中身を具現化していく重要な内容として、今後が期待される。さらに、政策実現に貢献するより多くの研究が行われ、経営情報学部で行われる研究がより一層発展していただきたいものである。